

キリスト者共同体講演会

# 子どもと季節のお祭り

※ 季節の流れのなかにひそむ生命の源泉とは何か? ※

講師 輿石 祥三



豊かな日本の年中行事は、かつて宗教が季節の流れと深く結びつき、社会生活に生き生きとしたリズムを提供していたことを教えてください。しかし物質主義が全ての人間を支配している現代において、この生き生きとしたつながりは見失われ、人間は宇宙や自然の中ですます孤立した存在になってきています。私たちの現代社会のもつ心の混乱の大きな原因も、そこにあるのではないのでしょうか。

このような時代のただ中で本当の人間らしさを取り戻すために、シュタイナーの人智学運動は子供の教育から大人のための芸術や認識の活動にいたるまで、いたるところで季節の霊的背景を重視しています。とくに人智学との深い縁をもつ宗教活動であるキリスト者共同体でも、一年の季節の流れと深く一致した儀式が、その根本に据えられているのです。

祝祭とは大宇宙の歩みと人間の生活を結びつける出来事であり、そこには大きな生命がひそんでいるのです。この講演では主に、クリスマス、復活祭、ヨハネ祭、ミカエル祭などのキリスト的な一年の祝祭をご紹介します。子どもと祝祭との関わりやその生命の源泉を皆様と考えてみたいと思います。

特別な予備知識は必要ありません。ご関心のある皆様のお越しを心よりお待ちしております。

日時 1月31日(土曜日) 13:30 開場 14:00 開演

会場 ドーンセンター 4F 大会議室1

大阪府中央区大手前1-3-49 TEL: 06-6910-8500

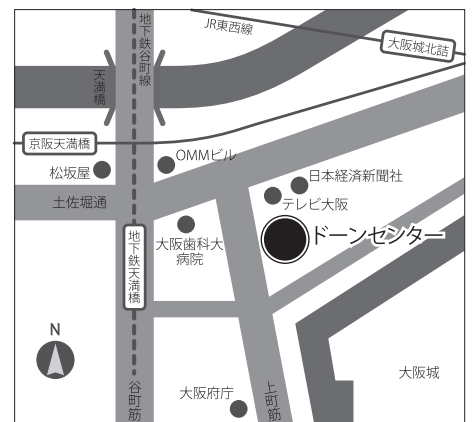
- ・JR東西線大阪城北詰駅2号出入口から西へ550m
- ・京阪天満橋駅・地下鉄谷町線天満橋駅1番出口から東へ350m
- ・市バス京阪東口からすぐ

参加費 予約2,000円 当日2,500円

予約締切1月20日 予約、問い合わせはE-mailかFAXで下記まで。

E-mail: [kansai@kirisutoshakyodotai.org](mailto:kansai@kirisutoshakyodotai.org)

TEL/FAX: 0742-34-8948 吉岡知价子



## <キリスト者共同体>

1922年にルドルフ・シュタイナーの協力によって創立された人智学を基盤とする宗教改新運動。あらゆる教義(ドグマ)を排除し、精神的な自由を最も大切にする。ドイツ・ベルリンに本部があり、世界各国で活動が行われ、集会の各々がまったく自由な立場で運動を繰り広げている。共同体の核心である sacrament(儀式)を要として、日曜学校、青年のためのゼミナール、老人施設や病院での精神的ケアなど、社会・地域とふかく結びついた運動を展開。日本創設は2000年、東京集会では週に3回人間聖化式がとり行われ、「エマオス」「礎」などの通信を発行している。

## <講師プロフィール>

1953年東京生まれ。学習塾勤務のかたわら人智学を学び、1983年に渡独、84年~87年キリスト者共同体自由大学で学ぶ。帰国後、翻訳会社に勤務、日本でのキリスト者共同体設立準備活動にたずさわる。98年に再び渡独、翌年司祭に就任。2000年から日本のキリスト者共同体で働いている。訳書として、フリーリング著「キリスト教の本質について」、リッテルマイヤー著「我が父」、シュレーダー著「クレドーキリスト者共同体信条概論(共訳)」、「人間聖化式の体験について」、「祈りー修練と経験」、シュタイナー著「我が父ー主の祈り」等がある。

## ※ 人間聖化式のお知らせ ※

翌日の2月1日(日)に箕面シュタイナーこども園にて人間聖化式が執り行われます。

子どものための日曜礼拝式、顕現祭のお祭りもあります。

詳しくは上記E-mail、FAXか講演当日スタッフにお問い合わせください。

